

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	カインズ羽生店		階数	地上1F
建設地	埼玉県羽生市		構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域		平均居住人員	2,000 人
地域区分	6地域		年間使用時間	4,000 時間/年(想定値)
建物用途	物販店		評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月	0.0	評価の実施日	2020年7月8日
敷地面積	29,949 m <sup>2</sup>		作成者	伊藤建築設計事務所
建築面積	9,937 m <sup>2</sup>		確認日	2020年7月8日
延床面積	9,918 m <sup>2</sup>		確認者	伊藤建築設計事務所



図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 階高を高く設定し、構造は鉄骨ラーメン構造を採用することにより、将来の変更にしやすい計画とした。		<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b> 照明はすべてLEDとし、照明からの熱負荷の軽減を目指している。	<b>Q2 サービス性能</b> 特になし	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特になし
<b>LR1 エネルギー</b> 照明はすべてLEDとし、照明負荷を軽減している。空調機は高効率の機器を使用している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 鉄骨造を採用することで、将来の外壁更新などを行いやすくしている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 特になし

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
カインズ羽生店

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階		欄に数値またはコメントを記入		
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
		<b>Q 建築物の環境品質</b>				
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.6</b>	0.15			2.6
1.1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	0.40			
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00			
2 界壁遮音性能			-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-			
1.3 吸音		<b>1.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.0</b>	0.35			3.0
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50			
1 室温		3.0	0.50			
2 外皮性能		3.0	0.17			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.33			
2.2 湿度制御		<b>3.0</b>	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.0</b>	0.25			3.0
3.1 昼光利用		<b>3.0</b>	0.50			
1 昼光率			-			
2 方位別開口			-			
3 昼光利用設備		3.0	1.00			
3.2 グレア対策			-			
1 昼光制御			-			
3.3 照度			-			
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.50			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.0</b>	0.25			3.0
4.1 発生源対策		<b>3.0</b>	0.50			
1 化学汚染物質		3.0	1.00			
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.30			
1 換気量		3.0	0.50			
2 自然換気性能			-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50			
4.3 運用管理		<b>3.0</b>	0.20			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50			
2 喫煙の制御		3.0	0.50			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.3</b>	0.40			3.3
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40			
1 広さ・収納性			-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	1.00			
3 バリアフリー計画		<b>3.0</b>	0.30			
1.2 心理性・快適性		<b>5.0</b>	0.33			
1 広さ感・景観	売場の天井高さを4.5mとした	3.0	0.33			
2 リフレッシュスペース		1.0	0.33			
3 内装計画		<b>4.0</b>	0.30			
1.3 維持管理		<b>4.0</b>	0.50			
1 維持管理に配慮した設計	メンテナンスしやすい仕上材の採用	4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保	適切な規模の清掃員控え室を計画	4.0	0.50			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.30			2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振		<b>3.0</b>	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.0</b>	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20			
2.4 信頼性		<b>2.6</b>	0.20			
1 空調・換気設備		3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3 電気設備		3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5 通信・情報設備		1.0	0.20			

<b>3 対応性・更新性</b>		<b>3.6</b>	0.30		-	<b>3.6</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>		<b>5.0</b>	0.30		-	
1 階高のゆとり	階高を水下でFL+5.3mとした	5.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.0417	5.0	0.40		-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>		<b>3.0</b>	0.30		-	
<b>3.3 設備の更新性</b>		<b>3.0</b>	0.40		-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.1</b>
1 生物環境の保全と創出		<b>1.0</b>	0.30		-	<b>1.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮		<b>3.0</b>	0.40		-	<b>3.0</b>
3 地域性・アメニティへの配慮		<b>2.0</b>	0.30		-	<b>2.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		<b>2.0</b>	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		<b>2.0</b>	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>		-	-	-	-	<b>3.2</b>
<b>LR1 エネルギー</b>		-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.6</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制		<b>1.0</b>	0.20		-	<b>1.0</b>
2 自然エネルギー利用		<b>3.0</b>	0.10		-	<b>3.0</b>
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.67	<b>5.0</b>	0.50		-	<b>5.0</b>
4 効率的運用		<b>3.0</b>	0.20		-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価		<b>3.0</b>	1.00		-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価			-		-	
4.1 モニタリング			-		-	
4.2 運用管理体制			-		-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.6</b>
1 水資源保護		<b>3.0</b>	0.20		-	<b>3.0</b>
1.1 節水		<b>3.0</b>	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		<b>3.0</b>	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減		<b>2.4</b>	0.60		-	<b>2.4</b>
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.11		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.22		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		<b>3.0</b>	0.20		-	<b>3.0</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用		<b>3.0</b>	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避		<b>3.0</b>	0.70		-	
1 消火剤		-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3 冷媒		3.0	0.50		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.4</b>
1 地球温暖化への配慮	省エネルギー対応機器の採用	<b>4.2</b>	0.33		-	<b>4.2</b>
2 地域環境への配慮		<b>3.0</b>	0.33		-	<b>3.0</b>
2.1 大気汚染防止		<b>3.0</b>	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		<b>3.0</b>	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		<b>3.0</b>	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮		<b>3.0</b>	0.33		-	<b>3.0</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		<b>3.0</b>	0.40		-	
1 騒音		3.0	0.33		-	
2 振動		3.0	0.33		-	
3 悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		<b>3.0</b>	0.40		-	
1 風害の抑制		3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制			-		-	
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制		<b>3.0</b>	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	

# CASBEE埼玉県

# 重点項目シート



■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	カインズ羽生店	BEE	1.0	BEEランク	★★★
------	---------	-----	-----	--------	-----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア	緑の保全・創出のスコア	=		6.2	
4.2	+	2.0			
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 		

## 3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	4.2
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.2
<配慮した内容を記述>			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述>			

: 入力欄